

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスキッズサポートみずほ		
○保護者評価実施期間	2025年4月20日 ～ 2025年5月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年4月20日 ～ 2025年5月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多くの子どもたちが毎日楽しく通っていること、毎日の活動を楽しみに期待していることは、事業所の魅力と活気の証です。	・幅広いテーマでレクリエーションを企画・実施し、子どもたちの多様な興味関心に応える工夫をしています。	・適切な人員配置について検討し、より質の高い支援体制を構築する。
2	・SDGs、運動、調理、地域交流など、多様なレクリエーションを提供し、子どもたちが満足していることは、成長の機会を提供している強みです。	・楽しい雰囲気づくりや、子どもたちが主体的に参加できるようなレクリエーションを通して、満足度を高めることを意識しています。	・地域交流や活動の機会を増やしていくことに努めます。 ・送迎で使用する車両での安全装置ブザーの設置、送迎車両の安全対策などを早急に関し、子どもたちの安全を確保する。
3	・定期的に保護者から嬉しい声が届いていることは、保護者の信頼を得ており、事業の質の高さを裏付けるものです。	・定期的な情報共有や意見交換を通じて、保護者との信頼関係を築き、連携を密にしています。	・食衛生管理責任者をはじめ、必要資格を持つ人材の配置の相談を社長に行い、より専門性の高いサービス提供を目指す。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・法定の定員(10名)を超過しているため、一人当たりの子どもに十分な支援を提供できているか懸念がある。	・用希望者の多さに対して、適切な人員配置が追いついていない可能性がある。	・法的基準に基づいた適切な人員配置を行うために、人員の見直しや増員を検討する必要がある。
2	・保護者や地域交流への参加や企画などが少なく、保護者交流や地域交流を求める保護者からの意見がある。	・基幹センターへの交流会に参加する機会が少なかったり、地域への交流の機会が少なかったり、保護者交流会などの提案や企画が今後の課題になってきます。	・地域の基幹センターの交流会に参加する機会も増え、地域交流の企画や部会に参加することで交流の機会を作れるように考えています。保護者交流の機会や企画を今後、考えていけるように努めます。
3	・事業所が2階にあることや室内にも段差があるため、バリアフリー化が難しい。	・階段や段差には、危険がないように職員が必ず付き添い、言葉をかけながら上り降りしている。	・階段や段差には、危険がないように職員が必ず付き添い、言葉をかけながら上り降りしている。段差には、クッション、手すりなどをつけて危険がないように環境設定を行っている。これからも、危険がないように支援や工夫につとめてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズサポートみずほ
------	------------

公表日 2025年 5月 20日

利用児童数 2025年 5月 20日

回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					・広々としたスペースをうまく利用した支援や構造化の工夫を進めるとともに、日々のお子様の様子に合わせて見直していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					・資格者が既定の配置人数を確保しつつ、突然の病欠などでも対応できるように人員の拡充に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					・これからも、危険がないように継続していくとともに、お子様が落ち着いて過ごしたり、活動に集中できるよう、スペースをうまく利用した支援や工夫を努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					・毎日清掃と消毒を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					・スタッフ間でルールが曖昧な事項に関しては、その都度振り返りにて話し合い、決めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						・子どもの姿にあった具体的な支援内容を設定していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					・ガイドラインに沿いつつ、子どもの姿にあった具体的な支援内容を設定していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1		・今後は、地域交流や活動をする機会を作っていくように努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					・これからも継続していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					・これからも継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		・プログラムとしては行っていないですが、個別の相談に対応し、支援していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。				1		・モニタリングの機会だけではなく、普段の利用の際にもお子様の成長の姿や課題に対する意見交換を細やかに行えるように徹底してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1		・対面での実施に向けた取り組みを行い、保護者会開催の方法を模索できればと存じます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					・これからも継続していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					・これからも継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					・これからも継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					・これからも継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					・これからも継続していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					・これからも継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					・これからも継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					・これからも継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズサポートみずほ		2025年 5月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		・階段で2階に上がるためバリアフリー化が難しい。 ・必ずスタッフが付き、危険が無い様配慮している。 ・段差や角にはクッション等工夫を施している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			・支度をしやすいよう導線や視覚支援の掲示をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			・気持ちが崩れた時の為、クールダウン空間を設置している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			・朝礼終礼において、ねらいや振り返りなどの打ち合わせを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			・毎年評価表の実施を行い、業務改善に繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・スタッフ同士が意見をしやすい風通しの良い職場を心がけている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		・現在は利用者と事業所での評価となっており、今後の検討を課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		・外部研修への参加、内部研修を行うなどスタッフのスキルアップに繋げている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			・計画書を作成する際は、スタッフとの話し合いの上で作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			・ねらい、支援内容をふまえながら子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、スタッフで具体的な支援内容を決めている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	5		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	5		・就学時や移行の際に連絡を行い、必要に応じて情報共有できるようにつとめています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	4	4		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	5		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	5		
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		・今後開催できるよう検討している。（夏祭りや演奏会等） ・夏祭りにて交流を持つことができた。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			・SNSで活動の様子や内容の発信をしている。今後もう。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		・地域の方々との交流を持てるように検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・服薬している薬の情報共有をしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		・消毒、清掃を徹底し、提供する前には必ずチェックをしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			・月1回の防災や避難訓練を行い、防災への意識を高めている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・虐待防止の研修を受け付けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			